

令和 2年度 施策評価シート（令和元年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち  
 施策 03 道路網・公共交通体系の整備  
 主管課： 建設課  
 関係課： 企画課、都市計画課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民が安全で快適に移動できるまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市内の道路は安全に通行できていると感じている市民の割合 (%) 建設課					
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
71.70	74.50	70.30	75.00		75.00
向上指針	上がると良い	(状況) 令和元年度の市内の道路は安全通行できていると感じている市民の割合は、70.3%で、昨年度と比較し、4.2ポイント減少している状況です。 (原因) 年々、交通量の増加により市民が危険と感じる箇所が増加していると思われる。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

公共交通に対する市民の満足度 (%) 都市計画課					
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
48.60	48.40	45.30	55.00		57.00
向上指針	上がると良い	(現状) 前年度より3.1ポイント減少しております。 (原因) モコバス運行のルートの見直しにより、3ルートから2ルートへの減少が原因と考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	847,873	839,001	855,366	2,393,519	1,768,559
人件費	65,661	73,626	66,435	0	0
トータルコスト	913,534	912,627	921,801	2,393,519	1,768,559

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
01 未改良道路の整備	向上	向上			114,998	136,187	156,255	405,411	455,400
02 道路の適切な維持管理	向上	横ば			386,028	267,615	324,484	613,644	612,962
03 都市計画道路の整備	横ば	横ば			247,071	334,402	309,559	1,274,263	600,000
04 公共交通網の充実	横ば	向上	低下	横ば	94,660	95,252	55,592	89,778	89,778
99 施策の総合推進					5,116	5,545	9,476	10,423	10,419

5 施策全体の取組状況と課題

前年度取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>都市計画道路については、街路事業費補助金が要望通り配分され、開発公社から用地の買戻しが順調に進みました。しかし、理解の得られない一部地権者の問題を解決し、さらに事業を推進する必要があります。また、令和元年度に橋梁長寿命化修繕計画に基づき西荻久保橋を修繕しました。つくばエクスプレスについては、長年要望を行っていた8両編成化について事業化が決定されました。引き続き鉄道会社や国等へ東京駅延伸や通学定期割引率拡大について働きかけを行っていきます。バス交通については、平成31年4月よりモコバスのルートを2路線に見直し、新たな交通手段としてデマンド乗合交通を導入しました。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	より向上
	コスト方向性	削減

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>都市計画道路については、土地開発公社を活用し、用地の取得を進めます。また、次年度について、坂町清水線の一部工事に着手します。さらに、西荻久保橋の修繕を実施します。つくばエクスプレスについては東京駅延伸、8両編成化の早期実現や通学定期割引率の拡大について引き続き鉄道会社や国等へ働き掛けていきます。バス交通については、平成31年4月より新たなモコバス路線や新たな交通として導入したデマンド乗合交通について、利用実態等を元に効率的で利便性の高い交通を目指します。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性

<p>都市計画道路については、都市再生整備計画事業交付金等を活用し、用地の取得を進め更なる整備促進を図ります。つくばエクスプレスについては、東京駅延伸や通学定期割引率の拡大、8両編成化の早期実現について、引き続き鉄道会社や国等に対し働きかけを行っていきます。バス交通については、モコバスやデマンド乗合交通について、利用者からの要望等をふまえながら、効率的で利便性の高い交通を目指し、随時見直しを行います。</p>	成果方向性	より向上
	コスト方向性	削減